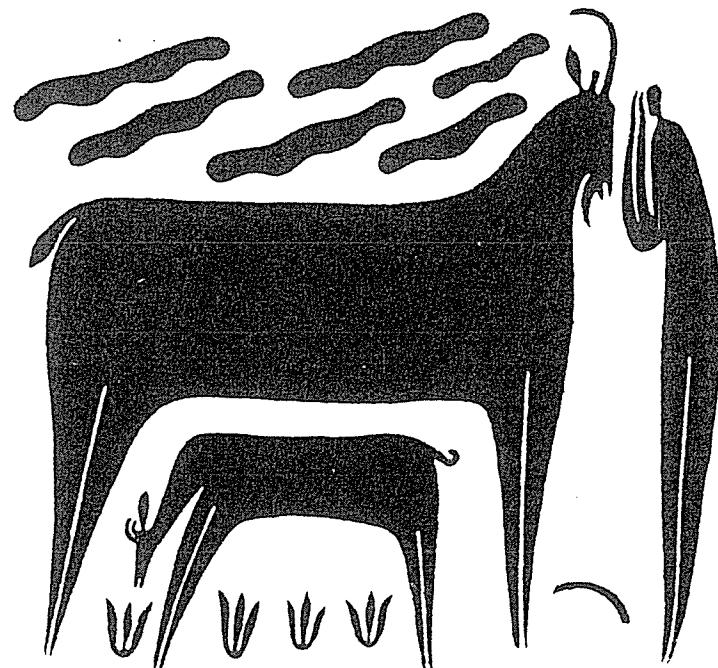


# 文書管理通信

No.2

平成4年  
5月

絵 望月通陽（『新・繪釋夷蘇府』より）

---

目次

---

<インフォメーションコーナー>	2
情報公開を10月に控えて 焼津市の対応	
<書評コーナー>	4
『O I 研究シリーズ [3] 地方公共団体の新しい文書管理システムの構築と運用』	
<雑誌コーナー>	5
<新聞コーナー>	14
<受贈本>	15
<編集後記>	15

# インフォメーション

## 情報公開を10月に控えて 焼津市の対応



焼津市役所全景

地方公共団体における情報公開は、昭和57年4月の山形県金山町を皮切りに平成3年4月1日までに都道府県35団体、特別区20団体、市町村139団体で既に実施され、静岡県においても県、蒲原町、富士市が既に実施している。更に実施に向けて検討を進めている団体も数市に及んでおり、焼津市もそのうちの一つである。

焼津市では、本年平成4年3月に議会で公文書公開条例が議決され、平成4年10月1日の施行に向け現在その事務をすすめている。

以下に焼津市総務部総務課行政係長からうかがったお話をと、ご提供頂いた資料をもとに焼津市の具体的な対応をまとめた。

平成3年10月に各部、課長レベルで構成される焼津市情報公開検討委員会、各係長で構成される焼津市情報公開検討幹事会が設置された。そこでは、「先進都市の制度の比較」・「実施機関について」・「対象情報について」・「公開・非公開の範囲について」・「情報公開の手続き」・「救済制度」・「情報提供施策について」・「文書管理体制について」等のテーマをもとに検討がなされてきた。同時に先進都市（富士市・神奈川県相模原市）の実施状況調査、

東京都・神奈川県・愛知県・大阪府・兵庫県各市の制度資料収集を行い、収集された資料をもとに検討がなされた。

また、情報公開制度の発足に向け市内各界、各層の市民15名からなる「市情報公開懇談会」が設置され本年2月にはその提言がなされた。

これらと平行して、情報公開のもととなる文書管理そのものも見直すべく職員の研修会も開催された。テーマは以下の通りである。

「相模原市の情報公開制度」・「文書管理への取り組み」・「文書管理研修会」・講演「開かれた行政をめざして」 東京都立大学 兼子仁教授 等。

また、昨年平成3年11月には、文書管理実態調査を実施し、平成4年2月には永年保存文書を対象とした文書調査を行なった。この調査は民間業者に外部委託したもので、文書引継時に作成された管理カード（引継票）の記載内容と保存箱内の実在文書を対照することで、実文書の実態を把握し、更に管理カード記載の文書表題と、実文書の内容を引き較べ、適切な表題のふり直しや、補足及び統一化を図ることを主たる目的とし、更に、マイクロ化にも対応が可能なように量的な把握、法的証拠能力の問題、図

面の有無にまで及ぶ調査であった。そして、この調査結果データを電算機に入力したことによって永年保存文書に関してはコンピュータによる管理が可能になった。

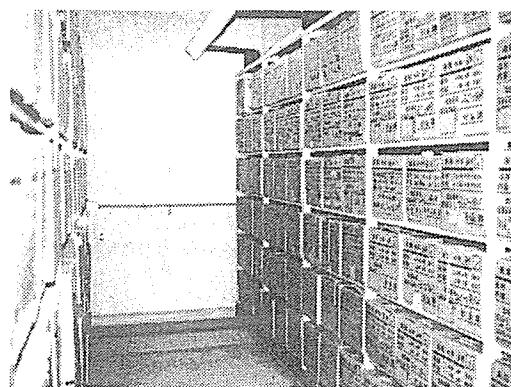
焼津市においてはこの半年あまりの間に上記のような対応をしてきた。現在、焼津市では、情報公開実施に向けての短期的な対応と文書管理全体を含む長期的な対応のふたつが進行中である。以下は当方の質問に対する焼津市総務部総務課行政係長の談話である。

Q 「情報公開を実施する機関は？」

A 「市長・教育委員会・選挙管理委員会・監査委員・農業委員会・固定資産評価審査委員会・消防長です。」

Q 「請求権をもつのは？」

A 「①市内に住所を有する者  
②市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体  
③市内に存する事務所または事業所に勤務する者  
④市内に存する学校に在学する者  
⑤実施機関が行う事務事業に利害関係を有すると実施機関が認めた者  
以上です。」



焼津市役所書庫

Q 「公開対象となる文書は？」

A 「原則として、市で保有している全ての文書を公開対象としていきます。しかし、当面は今回文書調査が完了した永年保存文書、及び平成4年度4月1日以降に作成または取得した文書を対象とし、永年保存以外の過去の保存文書に関しても永年保存文書と同様の調査が終了し次第公開します。」

Q 「実際に情報公開が実施された場合の個々の文書の公開・非公開の判断は？」

A 「個々の判断については、各部局で条例に基づき判断しますが、判断の困難なものについては、内部調整機関に諮り検討していきます。」

Q 「情報公開が実施されてこれまでと最も大きく変わることは？」

A 「公文書公開条例以前にも可能な限り情報提供は行なってきました。今回の公文書公開制度で最も重要な点は、公文書の公開請求が市民の権利として保障されたという点です。

また、広く市民の皆さんに市の仕事を知って市政に参加して頂き『開かれた市政』をより一層すすめるものです。」

焼津市：市制施行…………昭和26年

面積……………44.60Km<sup>2</sup>

人口……………113,690人

世帯数……………32,606世帯

「やいづ市のすがた」（平成3年4月）より

# 書評

## 『O I 研究シリーズ〔3〕地方公共団体の新しい文書管理システムの構築と運用』

自治省行政局振興課監修 (87'6・B5判・350P・3600円)



自治日報社 〒102 東京都千代田区平河町  
1-3-8 平河町プラザ (03)3262-6094

### 序 章 研究の概要

- 第1章 文書管理の概念と課題
- 第2章 文書管理システムの構築要件
- 第3章 文書管理システムの導入と運用
- 第4章 文書管理システムの運用事例

本書は、序文にもあるように「情報処理技術の進展とOA機器の普及拡大は、文書事務の大変な変革を可能にしつつある」という今日の技術的地平をふまえた上で、「情報公開・行政情報資源の有効活用といった情報に関する施策を円滑に推進する上で効果的な文書管理システム」を構築することを目的として、自治省行政局振興課が(財)地方自治センターに委嘱して行なった調査・研究の成果をまとめたものである。

全体は、文書及び文書管理事務についての現状把握と課題設定(第1章)、次いで本論としての第2、3章では、「文書管理システム」を構築するに当たっての基礎条件の整備及びシステムを構成すべき諸要件についての解説(第2章)を行なった上で「文書管理システム」の導入及び運用の手順及び留意点を示し、更に終章においてはその実際的運用について全国10カ所の自治体の事例をあげて説明するという構成となっている。

本書は、過去に出版されている同種のテキストに比較してわかりやすく、現在文書管理担当者の多くが直面するほとんどの問題について網羅している。その点では、ファイリングシステム導入の試みなどの経験を過去にもたない市町

村においては絶好のガイドブックであるといえよう。

本書の刊行から既に5年が経過し、その間に多くの自治体において本書の提唱する文書管理システムが既になんらかの形で試行してきた。その試行の中で、現在新たな課題や問題点があらわれてきている。このようなケースでの自治体担当者の現状の問題意識に対応した本書の続編が待ち望まれよう。

### 訂正

創刊号掲載のテクノシステム、嵯峨野書院、自治日報社の所在地を以下のように訂正させて頂きます。

#### ▽テクノシステム(創刊号3ページ)

東京都千代田区神田錦町3-11熊谷ビル→3-16五十嵐ビル

#### ▽嵯峨野書院(創刊号3ページ)

京都市西京区下津林中島15-3→牛ヶ瀬山柿町4-5

#### ▽自治日報社(創刊号5ページ)

東京都千代田区平河町1-3-7→1-3-8 平河町プラザ205

# 九種 誌

今回より対象誌に「日経オフィス」(月刊・5日発行・A4判・¥14,500/12冊 日経B P社 〒101 東京都千代田区三崎町3-3-23 TEL<03>5210-8011) を加えました。

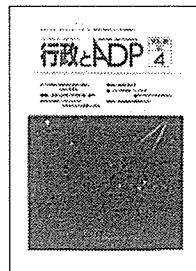
掲載目次のうち先頭に①～⑤のついたものについてはP12に記事紹介を掲載しております。

## 目次紹介

### 「行政とADP」 社団法人 行政情報システム研究所 TEL (03) 3438-1678



VOL. 28  
N O. 3  
1992年3月  
(通巻325号)



VOL. 28  
N O. 4  
1992年4月  
(通巻326号)

#### <随想>

- 何のためのコンピュータか
- <動向>
- ダウンサイジングをめぐる動向
- <報告>
- 官庁における今後のコンピュータ調達に関する措置について～日米コンピュータ協議の合意結果に基づいて～
- <解説>

- ①行政情報公開基準について
- <セミナー>

- ②東京都庁移転に伴う文書の減量化について
- <政治・経済を見つめて>

- 壁に突き当たった自由貿易主義

#### <システム時評>

- 電話業界の影を識る
- 経済の目(20)

#### <海外調査レポート>

- 北米の情報処理システム見聞録

#### <電子計算機利用に関する技術研究会・研究成果報告⑨>

- O S I導入に関する調査研究

#### <連載・都市の中の行政(9)>

- 21世紀と都市と政治

#### <パソコン活用講座 第12回>

- ワープロと辞書

#### <System's Eye>

- 米国社会に見るシステム

- NEWSキャビネット

#### <随想>

- 岡 義武先生のこと
- <パネルディスカッション>
- 情報通信技術の進展と行政の情報化～総務庁主催シンポジウム「行政と情報システム」より～

#### <解説>

- 政府におけるO S I利用・導入に関する基準について

#### <海外事例研究>

- アルベールビル冬期オリンピック運営システム

#### <政治・経済を見つめて>

- 政治に進歩はないのか

#### <経済の目(21)>

#### <連載・情報と個人①>

- 社会・情報そして個人(1)

#### <とーく & topics>

#### <都市に関する断章(1)>

#### <System's Eye>

- ブームに踊らせられないために(1)

#### <パソコン活用講座 第13回>

- ワープロで他のソフトのデータを取り込む

#### <NEWSキャビネット>

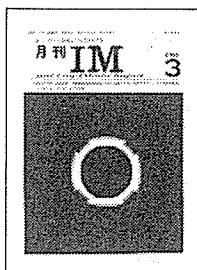
#### <資料>

#### <行政情報公開基準(全文)>

# 「月刊 IM」

社団法人 日本マイクロ写真協会

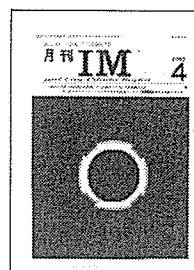
T E L (03) 3254-4671.4672



1992-3月号

第31卷第3号

(通巻254号)



1992-4月号

第31卷第4号

(通巻255号)

## <システム・アプリケーション紹介>

- ダイキン工業（株）油機事業部における電子ファイルの活用について

- A航空、ファイルネット・イメージ処理技術活用

## <ニューIM>

- FUJIX POSTER PRINTER 300

## <随想>

- 登校拒否の理由

- 秋田県立図書館の新聞保存とマイクロ化

「秋田魁新報」を中心として

## <合格体験記>

- “わたくしの体験、作戦を役立てて下さい”

## <通信員だより>

- 加賀百万石 大名行列うらばなし（その7）

- JMA維持会員・地区別一覧

- ニュース・アラカルト

- 書籍紹介「新聞の保存と利用 第2回資料保存シンポジウム講演集」

- JMAニュース

- 編集後記

## <システム・アプリケーション>

- ③総合文書管理システムの構築について

## <特別寄稿>

- ④地域文書館の資料保存活動

## <趣味と実益講座> 1

- 「マイクロ用語」八ツ当たり

## <Q and A>

- ⑤マイクロフィルム（アパートニアカード）の法的証拠能力について

## <ニューIM>

- 〔1〕ミノルタ図面用A2判リーダープリンタ RP609Z

- 〔2〕図面用高速普通紙複写機 KIP 8010

- 東京大学新聞資料センターにおける新聞資料の保存・利用・今後の問題

- アジア経済研究所図書館の新聞資料

## <通信員だより>

- 加賀百万石 大名行列うらばなし（その8）

- ニュース・アラカルト

## <随想「記・憶・す・る」>

- JMAニュース

- 編集後記

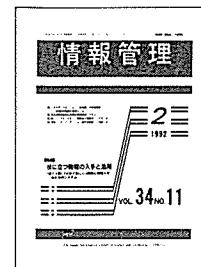
## 表紙について

表紙の絵は、静岡在住の染色家望月通陽氏の作品で『新・繪釋夷蘇府』（詞 塚本邦雄・絵 望月通陽・花曜社・1990）からの転載です。この本は望月氏の作品と塚本氏の美しい日本語が素敵に出会った魅力的な本です。

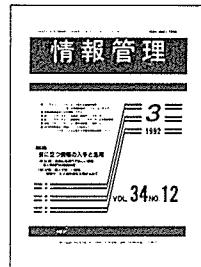
望月氏の作品は、一度見たら忘れられない優しさと素朴さをもっています。氏は今回、本誌への転載を快くご承諾下さいました。これから毎回氏の作品に本誌の表紙を飾っていただきます。また、その他のカットもすべて氏の作品です。どうぞ、お楽しみに。

# 「情報管理」 特殊法人 日本科学技術情報センター

T E L (03) 3581-6411



VOL. 34  
NO. 11  
Feb. 1992



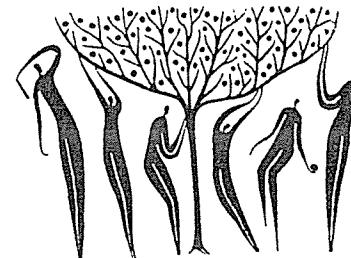
VOL. 34  
NO. 12  
Mar. 1992

- パネルディスカッション：21世紀への情報戦略  
—情報提供機関の将来ビジョン—
- 東京都葛西臨海水族園の情報検索システム
- 続・シンクタンク（2）－特殊法人形態のシンクタンク
- 講座：役に立つ情報の入手と活用【第11回】「大学で欲しい」情報と情報入手のためのシステム
- 情報・ドキュメンテーション国内文献集 - 1990③
- 図書紹介
- 図書紹介
- Pin Up
- 途中下車
- JICST通信
- 海外文献紹介
- 編集後記

- インタビュー：ハイビジョンで広がる情報の世界  
—多くの可能性秘めたハイビジョンギャラリー  
—竹中寿一氏に聞く
- 営業戦略創造のための情報システム
- 続・シンクタンク（3）－公益法人形態のシンクタンク
- 続・シンクタンク（4）－政策研究とシンクタンクによる政策提言
- 講座：役に立つ情報の入手と活用  
【第9回】企業の各部門で欲しい情報  
⑤人事部門の戦略情報
- 【第12回】個人で欲しい情報  
—情報サービス提供者の立場からみて
- 情報・ドキュメンテーション国内文献集 - 1990④
- JICST東西南北：TRISニュースNo.56より
- ヘリコプターによる上空からの震災情報の収集について
- 図書紹介
- Pin Up
- 途中下車
- JICST通信
- 海外文献紹介
- 編集後記
- 巻末索引

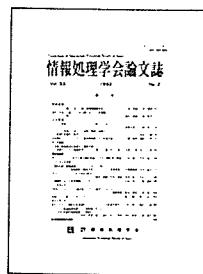
## 望月通陽 略歴

1953年、静岡市生まれ。染物屋での修行時代に培った染色の伝統技法を駆使し、これまでに、型紙を使って模様を染め出す「型染」や糊を絞り出して図柄を描く「筒書き」といった染色の作品、紙版画、陶器など様々なジャンルの作品を発表。一定の枠にとらわれない幅広い活動を行っている染色作家。主なものに、古代エジプトや中世ヨーロッパの伝説や詩を題材にした『出エジプト記』、『オイディップス』、『ニーベルンゲンの歌』などの、限定出版がある。



# 「情報処理学会論文誌」 社団法人 情報処理学会

T E L (03) 3505-0505



VOL. 33  
1992  
N O. 2



VOL. 33  
1992  
N O. 3

## <情報理論>

- フラクタルの概念に基づく提示情報量制御手法
- 制約つき再生可能な文字列分解にもとづく計算機ファイルのデータ圧縮

## <人工知能>

- ファジィ推論のチャートのテクニカル分析への応用の一工夫
- オンライン辞書から得られた語間の関係の知識を用いた構造的多義性の解消

## <対話翻訳システムのための文脈処理機構とその性能評価>

- 日本語の修飾構造を評価する添削支援システムを実現するための基礎研究

## <言語処理系>

- 準LS(2)文法に対する構文解析高速化のための解析表の構造

## <ソフトウェア工学>

- 代数的仕様と時制論理によるリアルタイムSAとオブジェクト指向設計の融合手法

## <H C P チャートエディタPAN/H C P>

- 文書編集における音声制御の一方式

## <ハードウェア>

- ISDNマルチメディア通信用ワンチップ暗号プロセッサ
- 再帰トーラス結合アーキテクチャ

## <ネットワーク>

- 多チャンネル上の選択的放送通信プロトコルのデータ転送手続き

- プロトコル高速処理装置により高性能化をはかったLSA N用通信制御装置の一構成法

## <欧文誌掲載論文要約>

## 特集：「並列処理」

- 特集「並列処理」の編集にあたって

## <相互結合網>

- 書換え可能なLSIによる可変構造型相互結合網の実現法

## <光並列演算>

- 画像論理代数(ILA)とその応用

## <並列推論マシン>

- 並列推論マシンPIM/iプロセッサの設計

- 推論プロセッサUNIRED II：プロセッサ・アーキテクチャの評価

## <共有メモリ方式・評価>

- 共有メモリマルチプロセッサにおけるガーベージコレクションの並列実行と評価

- バス結合型並列計算機の交信用メモリの性能評価

## <並列・分散OS>

- プロードキャストとWTC方式を用いた分散プロセス制御方式

- プロセス・ネットワークとして実現したUNIXカーネルの並列動作によるシステム・コール・レスポンス時間短縮の試み

- PIE64の並列処理管理カーネルのアーキテクチャ

## <並列デバッガ>

- 並列論理型言語FlengのマルチウインドウデバッガHyperDEBU

## <並列処理マシン応用>

- 非線形MHD型プラズマシミュレーションの並列化

- 分散メモリ型と共有メモリ型マルチプロセッサによる並列配線処理の性能評価

- 並列オブジェクトモデルに基づくLSI配線プログラム

- パーチャルタイムによる並列論理シミュレーション

- SIMD型並列プロセッサを用いたフルテキスト検索

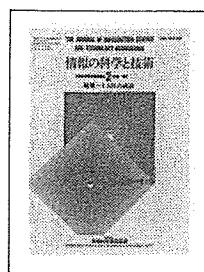
ちょっとお時間いいですか？

昨年は、モーツアルトの生誕200年。世界中がアマデウスに明け暮れた1年でした。一方日本に目を向けると、南方熊楠の没後50年でもありました。

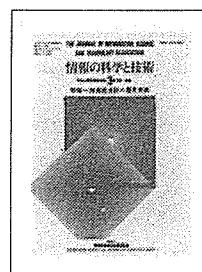
1992年の今年は、芥川龍之介・生田春月・佐藤春夫・堀口大学の生誕100年にあたります。昭和2年に35歳で自らの命を絶った芥川と、昭和56年、89歳の天寿を全うした堀口が同じ年であったとは、意外な気がします。

# 「情報の科学と技術」

社団法人 情報科学技術協会  
TEL (03) 3813-3791



VOL. 42  
1992  
NO. 2



VOL. 42  
1992  
NO. 3

## 特集=LANの成長

- 特集「LANの成長」の編集にあたって
- 研究環境におけるネットワークの現状とこれからの動向
- LAN管理者の役割 LANの開発経過と今後の課題  
- LANはオフィスをどう変えたか?-
- パソコンLANをとりまく最近の話題  
- 大手パソコン通信ネットワークより-
- 通信ネットワーク(BBS)の運用管理
- 米国における学術研究ネットワークの成長
- 博物館におけるLAN利用の可能性
- 理化学研究所におけるネットワークと電子メール
- 投稿: STNとDIALOGによるENERGYファイルの利用に関するアンケート結果
- 連載: 情報の探し方② 規格(下)
- 1991年度データベース検索技術者認定試験  
(1級) 試験問題
- 1991年度データベース検索技術者認定試験  
(2級) 試験問題
- INFOSTA Forum
- ドクメンテーションの動き
- 書評・新刊紹介
- 文献紹介
- 協会だより
- 編集後記

## 特集=図書館目録の遡及変換

- 特集「図書館目録の遡及変換」の編集にあたって
- わが国における遡及変換の現状
- 遡及変換の新技术
- オンライン自動登録方式による遡及変換  
- 書誌ユーティリティNACSIS-CATを利用して-
- 遡及変換と総合目録データベース
- 大学図書館における遡及変換 -立命館大学の場合-
- 東京都立大学付属図書館における遡及入力
- 大規模遡及入力の現場作業
- 連載: 情報の探し方③ 会議録
- 短期連載: 情報史(第1回)
- INFOSTA Forum
- ドクメンテーションの動き
- 書評・新刊紹介
- 文献紹介
- 協会だより
- 編集後記

## 社団法人 情報科学技術協会 1992年度(4月~3月)行事予定

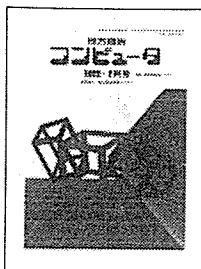
1992年5月23日	第35回通常総会および講演会(東京)
6月2日, 3日	「女性スタッフのための情報活用セミナー」(大阪科学技術センター)本号参照
6月	基礎セミナー「情報スタッフに求められる知識と能力」(東京: 2日間)
6月22日, 23日	第22回ドクメンテーション・シンポジウム(東京・中央大学駿河台記念館)発表募集中
6月~11月	プロフェッショナル・サーチャー養成講座(東京)
7月	第25回夏期特別セミナー(関東地区2泊3日)
9月	事例セミナー「情報部門活性化のポイント」(東京: 2日間)
10月1日, 2日	セミナー「サーチャーのための基礎講座」(大阪)
10月~3月	見学セミナー(3~4回)
10月22日, 23日	第29回情報科学技術研究集会(名古屋) 連絡先: 日本科学技術情報センター業務部
12月6日	データベース検索技術者認定試験(東京・大阪・名古屋)
1993年2月	技術セミナー「効果的な情報の加工技術」(東京: 1日間)
2月	セミナー「企業における情報管理の実例」(大阪)

「情報の科学と技術」(VOL. 42 1992 No. 3)掲載

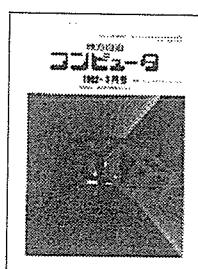
# 「地方自治コンピュータ」

財団法人 地方自治情報センター

T E L (03) 3261-8921



1992-2月号  
VOL. 22  
NO. 2



1992-3月号  
VOL. 22  
NO. 3

## <随想>

- 高度情報化時代と区政
- 特集／優秀情報処理システム
- 水防災総合情報システムについて
- バス総合運行管理システムについて
- 神戸市財務会計オンラインシステム
- 船橋市人事情報システム
- 豊田市福祉総合情報システム
- 徳島市の市営住宅行政とシステム開発

## <センターレポート>

- 中華人民共和国国家情報センターから感謝状が届く
- <コンピュータ講座>

- 情報処理システム監査技術者試験問題の解説(Ⅱ)
- <地域情報化レポート>

- 府中市民施設利用オンラインシステムの紹介
- 加古川市公共施設案内・予約システム

## <トピックス>

- 習志野市環境情報システム(NEIS)について
- <今日は、/>

- 塩尻市情報開発課です
- 和歌山市行政事務開発室です

## <健康情報>

- 遺伝子治療について

## <まとりくす>

- 父よりも母

## <情報管理官室からのお知らせ>

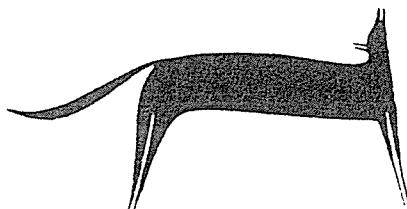
## <地方自治情報センターからのお知らせ>

- 入会の御案内

- 教育研修について

- NIPPON-Netからのお知らせ

## <編集後記>



## <随想>

- 県政と情報化
- 特集／コミュニケーションフォーラム
- 「地方自治体コミュニケーションフォーラム'91」が開催される
- 電子ネットワーク、これまで・これから  
—マニアックからビジネスへ—
- 組織間電子ネットと事務利用  
—経済的で効率的な組織間通信の試み—
- 府内電子ネットと組織活性化  
—電子ネットワークは組織を変えたか—
- 電子ネットと地域振興  
—パソコン通信は地域を熱くする—

## <コンピュータ講座>

- 情報処理システム監査技術者試験問題の解説(Ⅲ)

## <地域情報化レポート>

- 「厚木市スポーツ施設予約システム」について

## <トピックス>

- 請求者識別カードによる住民票の写し等自動交付システムについて

## <時の動き>

- 山口県の2大プロジェクトを見る  
ひかりソフトパーク計画と山口ソフトウェアセンターの建設

## <海外スポット>

- アメリカの地方公共団体における情報処理の高度化・地域化の実態について

## <今日は、/>

- 鹿沼市総務課です

- 城陽市総務課です

## <健康情報>

- 遺伝子治療について

## <まとりくす>

- 腰痛

## <情報管理官室からのお知らせ>

## <地方自治情報センターからのお知らせ>

- 入会の御案内

- 教育研修について

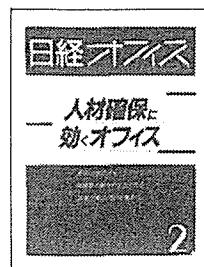
- NIPPON-Netからのお知らせ

## <「地方自治コンピュータ」主要目次>

## <編集後記>

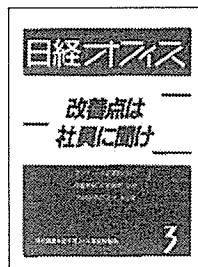
# 「日経オフィス」 日経BP社

T E L (03) 5210-8000



1992-2

- 特集 人材確保に効くオフィス
- 第1部 業務の効率より人材確保を優先
- 第2部 移転・リニューアルで採用成功
- 第3部 オフィス改善企業調査 整備したら応募者1.5倍



1992-3

- 特集 改善点は社員に聞け
- 第1部 アンケートで検証、改善効果
- 第2部 問題発見や方針決定に役立てる
- 第3部 本誌独自アンケート方式を公開

## <OFFICE FOCUS>

- 充実した休息の場が、研究・開発業務を支える  
日立製作所情報通信技術センタ  
　　オンワード櫻山総合研究所
- リポート>
  - OA 操作を簡単にして電子メールを使いこなす
  - リニューアル 店頭公開に向け本社増築、「会社の顔」整える
  - ファイリング 移転を機に本社でシステム見直し、他部門へも拡大
  - サービス ネズミ・害虫による漏電、断線を防ぐ
  - テナントのオフィス採点 広島市・南区、中区マネジメント
- FM入門講座>
  - 第11回 オフィス管理にパソコンを活用したい
- 法務相談>
  - オーナーが倒産、債権者が入居していたビルを取得した
- 賃貸料>首都圏主要都市サーベイ  
調査
  - 超小型プリンター：持ち運びができる、省スペースにも効果—8社製品13機種機能比較
  - 私とオフィス
  - ポイント・シリーズ

インタビュー  
　　太田泰也氏／三菱地所副社長

## 海外情報

- 米国ファシリティ・マネジャー報酬調査  
—平均年収5万5000ドル、会社からの評価には不満
- 専門業者を使い分け、本社移転を計画通り実行  
—米マテル社
- NEWS
  - IFMA、ファシリティ・マネジャー資格試験を実験的に開始
  - JFMA、FM総合講座の開設を見送る
  - 家具、設備、デザイン会社がオフィス空間設計事業でスクラム
  - 東京23区のオフィス・ビル入居率、過去5年で初めて低下
  - 新宿新都心でオフィス・ビルの建設相次ぐ、スペースは2倍に

## <OFFICE FOCUS>

- 銀座でゆとり。高い天井、見通しのきくフロア  
　　王子製紙本社
- リポート>
  - OA 受付業務を合理化するOAシステム
  - ニュースペース 自社ビル設備を見切り、湾岸の賃借ビルに移転
  - ファイリング 提案から20年、トップの願いやっと実現
- テナントのオフィス採点>
  - 千葉駅周辺地区マネジメント
- 我が社のオフィス・コスト管理>バーコード活用し備品管理—海老名市役所
- FM入門講座>第12回（最終回）ファイリング・システムを導入したい
- 法務相談>「契約期間を1年にしてくれ」といわれた
- 賃貸料>東京都23区主要地区サーベイ
- サービス価格動向>リース、レンタルが金利下げ反映し下降

## 特別調査

- 92年オフィス家具新製品：システム・デスクと周辺家具のデザインを統一
- 私とオフィス
- ポイント・シリーズ
- インタビュー  
　　吉瀬維哉／ニューオフィス推進協議会会長
- 海外情報
- 広いスペースで解放感高め、業績伸ばす
- 紙ごみリサイクル：効果を上げるノウハウ
- NEWS
  - 拡大FM推進連絡協議会がスタート、FM資格の骨子を承認
  - 東芝、オフィスの企画、設計、施工までの総合提案を事業化へ
  - ホテルリスト新宿、4月から近隣の企業を対象に保育サービスを実施
  - サクマフロアーサービス、パーティションの洗浄サービスを開始
  - 富士通、宇部興産、シティコープなど、天王洲の大型ビル群へ移転
  - ケルン国際家具見本市が東京で開催
  - 首都圏のオフィス市場、需給バランス崩れる—三菱エステート調査
- 新製品
- NEWSパック
- メールボックス
- カレンダー
- トークルーム

## 記事紹介

### ①「行政情報公開基準について」

総務庁行政管理局 行政情報システム担当 深澤旅生

公開文書・非公開文書の主要例、文書種類ごとの公開基準、公開方法等についてふれられている。

(「行政とADP」3月号)

### ②「東京都庁移転に伴う文書の減量化について」

東京都総務局 総務部総務課 課長補佐 尾崎尚

平成3年11月6日に、第25回各省庁統一文書管理改善週間の関連行事として開催された文書管理セミナーにおける講演「東京都庁移転に伴うOA化と文書の減量化について」のうち、尾崎氏による文書の減量化に関する部分を、総務庁行政管理局において取りまとめたものである。

なお、この減量化により都庁では5年間にダンボール箱にして14万箱分の文書を処分したという。

(「行政とADP」3月号)

### ③「総合文書管理システムの構築について」

第一生命保険相互会社 事務企画部文書業務課長 吉木三生

第一生命保険相互会社で、1988年から推進している「総合文書管理システム」の紹介である。

このシステムは文書情報をデータ量、検索頻度、緊急度合に応じて、磁気ディスク、マイクロフィルム、COMに分散収録すると共に、これらを統合管理するインデックスファイルから構成されている。

(「月刊IM」4月号)

### ④「地域文書館の資料保存活動」

八潮市立資料館長 遠藤忠

市町村立の資料保存施設“地域の中の文書館”的機能と資料保存活動について触れ、“市町村立文書館”との機能分化について考察している。

(「月刊IM」4月号)

\*

### ⑤「『QandA』マイクロフィルム（アパーチュアカード）の法的証拠能力について」

(株)神光マイクロ営業部部長 森山光夫

(株)神光マイクロの以下の質問に対する回答が掲載されている。

「当社におきまして、図面及び書類関係を35ミリ幅フィルム用アパーチュアカードに別記の仕様で作成しており、これらについての法的証拠能力についてご回答を賜りますようお願い申し上げます。」

(「月刊IM」4月号)

創刊号では、対象誌の目次紹介のみに終わり、記事紹介ができなかったため、創刊号で目次を掲載した記事の中から必要なものについて以下に記事紹介を掲載します。

### 「マイクロフィルムの管理と使用法」

富士写真フィルム（株）足柄研究所部長部員 岩野治彦

本年1月号、2月号に連載され現在も進行中の論文である。（3・4月号では休載）

長い実績をもつマイクロフィルムが、保存環境によってはベースの劣化を起こすこと、またその原因、そしてそれを防ぐための指針とマイクロフィルム保存の要点が解説されている。

（「月刊IM」1月号、2月号）

\*

「『Q and A』市県民税課税台帳及び課税資料等のマイクロフィルム化に伴う法的証拠能力について（照会）」千葉県流山市市長 眉山俊光

千葉県流山市市長の以下の質問に対する回答が掲載されている。

「市県民税課税台帳及び課税資料等をマイクロ化する場合の法的証拠能力に関し、税法の保存年限は7年となっているが、流山市では、3年間原簿で保存し、4年目にマイクロフィルム化し、原簿を廃棄することの是非。」

（「月刊IM」1月号）

\* 「Q and A」とは、MGに関する読者の質問に社団法人日本マイクロ写真協会が答えるコーナーである。

（編集室註）

——ちょっとお時間いいですか？——

3月29日の朝日新聞朝刊に南方熊楠の記事を見つけました。「熊楠 遺産も超人級」という見出しで、「熊楠の直筆原稿と書簡類を神田の古書店が売り出し、たちまち完売してしまった」という内容でした。直筆原稿（24字×20行、14枚）は100万円、買ったのは、財団法人・南方熊楠記念館、書簡類（書簡38、はがき100枚）は650万円で買い主は明らかにされていないとのことでした。

見出しの「も」にあらわされるように熊楠自身は近代日本における博物学の巨人であり、その記憶力、また奇行で知られる正に超人でした。熊楠の偉業とその位置を考えると決して高い値段だとは思えません。

博物学とはあらゆる自然現象を体系づける学問です。熊楠はありとあらゆるものを集め膨大な標本をつくりました。いわば、ファイリングの元祖のような人ですね。

# 新 聞

ファイリングまたは情報公開に関する記事の見出しを掲載しました。

発刊日	新聞名	記事内容
H 3.12.13	自治日報	行政事務近代化セミナー概要 最近の地域情報化の動向
H 3.12.13	自治日報	行政事務近代化セミナー概要 清水町におけるコンピューター利用による総合窓口の現状について
H 3.12.20	自治日報	総務庁 各省庁の情報公開基準を統一 個別判断は各省に一任
H 4.1.3	自治日報	香川県引田町 地積図2000枚、土地台帳2万7000筆を光ファイルに
H 4.1.13	静岡新聞(朝)	焼津市 情報公開制度導入へ市民の声 懇談会初会合
H 4.1.17	日経産業新聞	ぎょうせい 全国の地方条例D B化 自治体向けサービス
H 4.1.17	自治日報	永年保存文書の完全マイクロ化めざす相模原市
H 4.1.31	自治日報	宮城県の情報公開審査会が答申 ゴルフ場の農薬は情報開示を
H 4.2.7	自治日報	宮城県 処分場の地質調査結果を公開
H 4.2.8	日経産業新聞	光磁気ディスク装置 容量10倍以上に 日立が新技術
H 4.2.8	日経産業新聞	クラレ、シルバー精工 FAX・複写機能一体型A1対応光ファイルを共同開発
H 4.2.21	自治日報	金沢市議会 議会運営委員会で情報公開実施を合意
H 4.2.21	自治日報	山形県 公文書公開制度 来年1月に要綱で実施
H 4.2.21	自治日報	自治日報社主催 官公庁レコードマネジメントセミナー開催
H 4.3.2	読売新聞(朝)	法務省 戸籍事務コンピューター化プログラム作成開始
H 4.3.6	自治日報	札幌市 印鑑登録証明オンラインを1月から稼働 行政FAX網も再整備
H 4.3.6	自治日報	富山県 知事交際費で情報提供 項目使途別に公表
H 4.3.7	読売新聞(朝)	斎藤静岡県知事 博物館構想について国際的に通用する高次元の博物館を目指すと述べる
H 4.3.12	日経産業新聞	伊藤忠など3社 オフィス対象に古紙リサイクル事業を開始する
H 4.3.13	自治日報	兵庫県加西市 光ファイルで名寄帳と土地課税台帳を管理
H 4.3.18	日経産業新聞	富士写真フィルム 2倍の速さで書き込みできるCOM専用高速プリンター発売
H 4.3.20	自治日報	新潟市の情報公開審査会が答申 障害児の就学前審査「一部非公開」は妥当
H 4.3.20	自治日報	神奈川県の公文書公開審査会委員に初の女性委員

対象新聞:「静岡新聞」「日経産業新聞」「自治日報」「朝日新聞」「読売新聞」

対象期間:1991.12.10~1992.3.31

## 受贈書

### 『ファイル仕事』

南川利雄（90'5・四六判・194P・1500円）

同文館出版 〒101 東京都千代田区神田神保町1-41 TEL(03)3294-1801

I あらかじめ心得ておくこと III ファイル仕事

II ファイル仕事をする前にしておく仕事 IV 留意しておく事

### 『すぐ役立つファイリングの要領 文書・資料の整理技術』

三沢仁（90'4・四六判・165P・1100円）

実業之日本社 〒104 東京都中央区銀座1丁目3番9号 TEL(03)3535-4441

- |                               |                        |
|-------------------------------|------------------------|
| 1 ファイリングシステムの役割               | 14 ファイリングの維持改善         |
| 2 文書と資料                       | 15 移しかえ、置きかえ、保存、廃棄     |
| 3 OAで紙はなくなるはずではなかつたのか         | 16 保存文書のマイクロフィルム化      |
| 4 OA機械はビジネス文書のファイリングの主役にはなれない | 17 ファイリングシステムの導入       |
| 5 こんなことはありませんか                | 18 資料管理の重要性            |
| 6 ファイリング、ファイリングシステム、ファイル      | 19 資料整理の原則             |
| 7 パーティカルファイル法とキャビネット          | 20 資料分類表の作り方           |
| 8 パーティカルファイル法の用具と正しい使い方       | 21 索引の作り方              |
| 9 ファイリングの改善はどこでだれがやるのか        | 22 主題索引の作り方            |
| 10 ファイルの作り方                   | 23 図書の整理               |
| 11 ファイルの並べ方                   | 24 新聞・雑誌の整理            |
| 12 ファイリング改善の手順                | 25 パンフレット・カタログの整理      |
| 13 パーティカルファイル法以外のファイリング       | 26 写真・フィルムの整理          |
|                               | 27 図面・地図の整理            |
|                               | 28 資料管理に利用できる電子出版物     |
|                               | 29 データベースサービス          |
|                               | 30 データベースサービスとしての光ディスク |
|                               | 31 図書資料室のるべきサービス       |

## 編集後記

情報公開を10月に控えた焼津市の記事いかがだったでしょうか。今回、初めてインタビューなるものを試みてみました。収録させて頂いたテープを後から聞き直してみて改めてインタビューの難しさを痛感しました。インタビューをご快諾下さり資料までご提供下さった焼津市総務課の水野係長には、この場をお借りし、心よりお礼申し上げます。まだ創刊号しか発行されていなかった本誌にご本をご提供下さった同文館出版株式会社様、株式会社実業之日本社様、ご返信下さった皆様ありがとうございました。皆様からのお便りが何よりの励みです。

(益田耿明)

萌える新緑、さわやかな風、青い空と行楽のシーズンとなりました。たまには、自然の中でのリフレッシュもいいものですね。

さて、本誌第2号は、創刊号に比べて数段良いものができたかと思っておりますが、皆様のご感想はいかがでしょうか。本号より表紙への転載を快く承諾下さいました望月通陽氏には、深く感謝しております。最近の氏の活躍ぶりはすばらしいものがあり、氏の絵に負けない様、さらに内容の充実をはかり、皆様にお届けしたいと思います。これからもご期待下さい。

(吉田 真)



学術情報の加工・再製・公開の場として開設された  
「早稲田大学総合学術情報センター」の中央図書館で、10台のFDIP6000が稼働。  
画像が鮮明で、オートフォーカスなど操作が簡単なため扱い易く、  
スペースセービングにも貢献し大活躍。



富士写真フィルム株式会社 ■情報システム部 東京都港区西麻布2-26-30 〒106 TEL.(03)3406-2192

文書管理通信	No.2.1992.5
発行	1992年5月1日
発行人	渡辺秀博
発行所	株式会社工業複写センター 文書管理通信編集室
	〒420 静岡市竜南2丁目11-43 クト・オムビル
	TEL (054) 248-4611
	FAX (054) 248-4612
中性抄用紙(冷水抽出法P H 6.5~7.5)使用	